

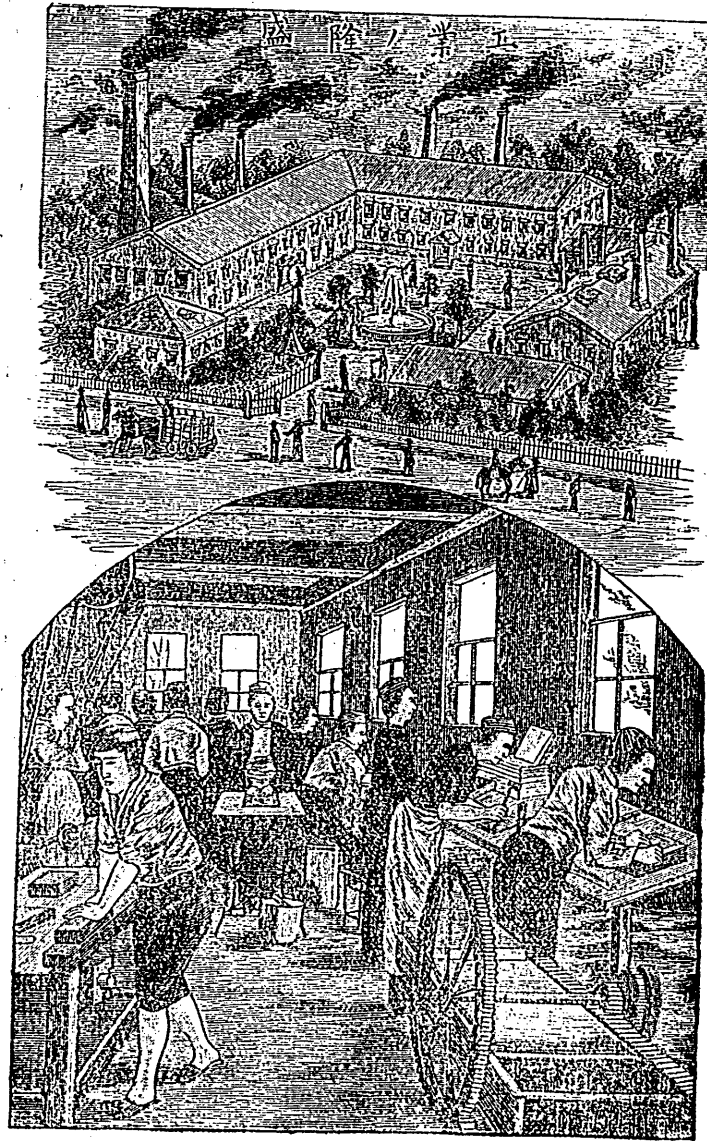
簡易第四讀本

興文社編

| | |
|-----|----|
| 育會館 | |
| 一 | 6 |
| 〇 | 8 |
| 六 | 57 |
| 册 | 號 |
| 架 | 國 |

檢定合格本

| |
|--------|
| K120.8 |
| 41a |
| 4 |



簡易第四讀本

第一

親族



汝ガ父母ノ父ヲ何トイフカ。祖父

トイフナリ。汝ガ父母ノ母ヲ何ト

イフカ。祖母トイフナリ。汝ガ父

母ノ兄弟ヲ何トイフカ。伯父叔父

トイフナリ。汝ガ父母ノ姉妹ヲ何



簡易第四讀本

東京興文社

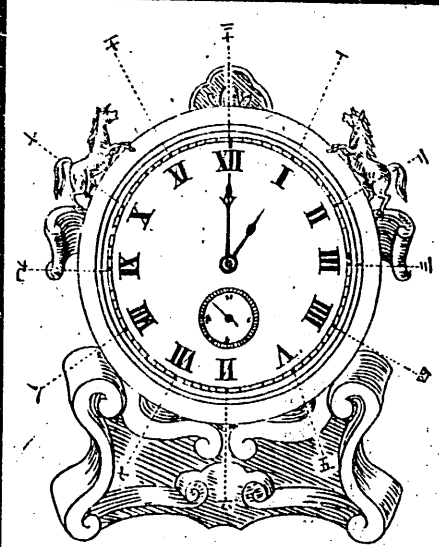
トイフカ。伯母、叔母トイフナリ。
 汝ガ祖父母ハ、汝ヲ指シテ、何ト呼バ
 ルルカ。孫ト呼バルルナリ。汝ガ
 伯叔父母ハ、汝ヲ指シテ、何ト呼バル
 ルカ。吾男ナレバ、甥ト呼バレタリ。
 若シ女ナラバ、姪ト呼バルルナラ
 ン。然リ、汝ガ言ノ如シ。汝ハ、汝ガ

親族ヲ大切ニセヨ。

祖父。祖母。伯父。叔父。伯母。叔母。甥。若。姪。言。
 親族。大切。

第二 時計

汝ハ、一時間の分ちかゝを知らずや。
 六十分よ分つあり。汝は、一分間
 の分ちかゝを知らずや。六十秒に



分つな里。此の時計の面を見にたる三つ此針の何ある。長き針の時を指し、短き針は分を指し、小さき針は秒を指したる。その小して、各右より左に廻り、長き針の一時間を廻る間

に、短き針は六十分間を廻り、短き針は一分間を廻る間、小さき針は六十秒間を廻るあり。これをば、此の三つの針の廻るを見、今の何時何分何秒あること知る處。此の時計の面を見、たる十二の志る。これ、何ある。これを羅馬數字と

て、即ち一時より十二時までを示したるものなり。

秒。時計。廻。羅馬數字。即。

第三 音ト訓

父ハ、太郎ニ向ヒテ、汝ガ知リタル一ヨリ十マデノ文字ニ片假名ヲツクベシトイヒケレバ、太郎ハ直チニ文

字ノ右ノ方ニ左ノ如クツケタリ。

イチニサンシゴロクシチハチクジラ
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

次ニ次郎ニ向ヒテ尚ホ此ノ外ニ變リタル讀方アラン、汝ハ之ヲ平假名ニテ左ノ方ニツクベシトイヒケレバ、次郎ハ暫ク考ヘテ、左ノ如クツケ

タリ。

一二三四五六七八九十

びろふやろみつよろいづつむつあふつやつこのつとを

父ハ之ヲ見テ、イツレモ善シト譽メ
テ、サテ曰ク、漢字ノ讀方ハ、一字ゴト
ニ音ト訓トノニツアリ、音トハ、文字
ノ讀聲ニシテ、訓トハ、文字ノ意味ナ

リ、此ノニツヲバ、能ク覺ユベシト教
ヘテ、更ニ左ノ七字ノ右ノ方ニ音ヲ
ツケ、左ノ方ニ訓ヲツケテ示シタリ。

天地 テンチ

山川 サンセン

松竹梅 シヨウチクバイ

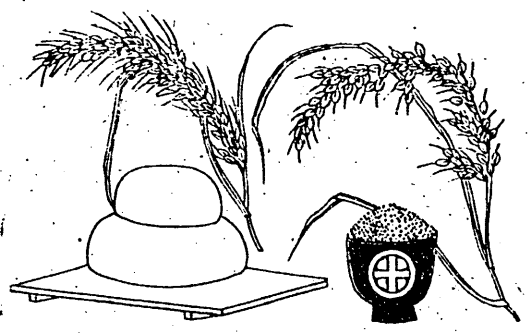
あめつち

やまかは

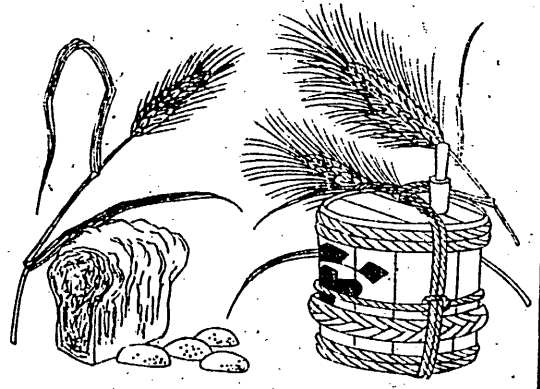
まのたけうめ

直。尚。讀方。暫。考。譽。曰。音。訓。意味。教。更。

第四、米と麥



米よハ、粳と糯とあり。粳は、炊きて飯とあし、糯を、擣きて餅となす。其の早く實るものをわせとひひ、晚く實るものをたくてといひ、あせとたくてと此間よ實るものを、たなのてといふ。麥ふ



は、大麥あり、小麥あり。大麥も亦炊ぐべく、又ハ、味噌、醬油かと、た作るに用ふ。小麥は、輓きて粉とあして、はん、う、どん、さ、らめんなどを製す。麥は、畑ふ作り、米を、田にも畑ふを作る。畑ふ作り

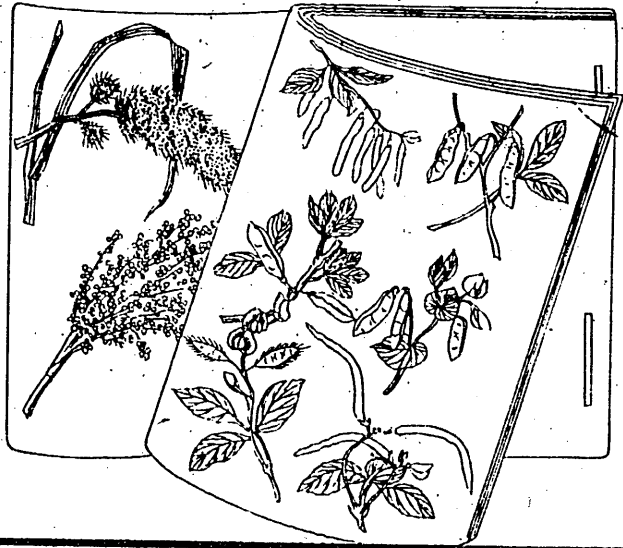
たる米を、をのほとひ。

粳。糯。炊。飯。擣。餅。晚。大麥。小麥。味噌。醬油。粉。製。

第五 豆

豆ニハ、大豆アリ、小豆アリ。味噌、醬油、豆腐ヲ作ルニハ、大豆ヲ用ヒ、餡ヲ作ルニハ、小豆ヲ用フ。豆ノ種類ハ、

甚ダ多クシテ、豌豆、蠶豆、ササゲ、フヂマメナド、孰レモ畑ニ作ルモノナリ。穀物ノ中ニテ、米、麥、豆ハ、最モ人ノ需用多シ。此ノ外、粟、稷ナドモ、亦食料ニ供



スベシ。

大豆。小豆。豆腐。餡。豌豆。蠶豆。孰。穀物。需用。
粟。稷。食料。供。

第六 四つの道具

此の處に四つの道具あり。甲は何あるか。鋤なり。乙は何あるか。鋤あり。丙は何なるか。鋸あり。

丁は何あるか。鋸なり。鋤は何か用ふるものか。土を掘るに用ふるものあり。鋤は何に用ふるものか。土をかへ用ふるものあり。鋸は何に用ふるものか。木を引きるものか。

割る小用ふるも此なり。鉋は何に
 用ふるふのか。木越削る小用ふる
 之のな里。汝も物乃名と用方とを
 能く覺にたり。一つの物を見ると
 まは必其の名と用方と越さとする
 也。

道具。甲。鋤。乙。鋏。丙。鋸。丁。鉋。掘。引。割。削。

用方。必。

第七 茶

今此ノ男子ハ座敷ニテ茶ヲ入レン
 トス。此ノ茶ハ何ヲ製シタルモノ
 カ。今彼ノ女子ハ茶園ニテ茶ノ樹
 ノ葉ヲ摘メリ。此ノ葉ハ何ニ供ス
 ルモノカ。此ノ男子ノ入レントス

ル茶ハ茶ノ樹ノ葉ヲ製
 シタルモノナリ。彼
 ノ女子ノ摘メル茶
 ノ樹ノ葉ハ人ノ飲
 料ニ供スルモノナ
 リ。汝ハ製茶ノ方
 法ヲ知レリヤ。茶ヲ製スルニハ此



ノ摘ミ採リタル葉ヲ蒸籠ニ盛リテ、
 蒸シタル後ニ、焙爐ニ懸ケテ、焙リナ
 ガラ、能ク揉ミ上グルナリ。

座敷。茶園。樹。摘。採。飲料。方法。蒸籠。盛。
 焙爐。揉。

第八 本のかりか

金助ハ銀藏に本を借らんとて、左の

手紙を贈りしり。

簡易第四讀本法明きふ法程の
はば兩三日の間拝借致したる候

月日

金助

銀藏様

銀藏の直ちに左の返事を認めて書
籍と共に使の人より渡したり。

仰の如く簡易第四讀本差上候
間由るゆゑ法覽下さるべく候

月日

銀藏

金助様

金助は深く喜び、次の日夕あた
に讀み終りて、速に之を返ししり。

金助。銀藏。借。贈。兩。拝借。致。様。認。共。仰。

差上。覽。喜。終。速。返。

第九 前のはずま

此の本を返し來りし時に銀藏は不在ありけきぞ、其の弟は鐵作はふるしき包を受け取りて見るよ、本に添へたる左乃手紙あり。

此大切の法本長長拜借ありと

く存し候乃ち返上致し居間は受け取り下されたくは

月日

金助

銀藏様

鐵作は此手紙と本とを兄の机の上小置ま左の受取書を認めて、使の人に渡しより。

記

一 活字紙

一通

一本

一冊

右の通正を受け取り候也

月日

銀藏代

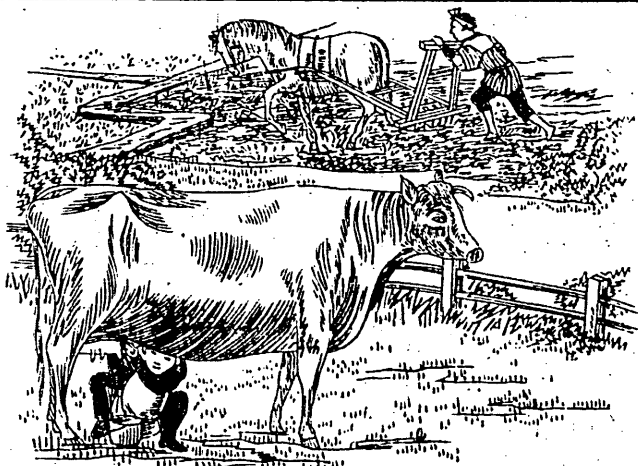
鐵作

金助様

不在鐵作。包添存。乃机。受取書。通。冊。正。也。代。

第十 馬ト牛

人ノ家ニ畜ハルル獸アリ。野山ニ棲ム獸アリ。野山ニ棲ム獸アリ。野山ニ棲ム獸ヲ野獸トイヒ、人ノ家ニ畜ハルル獸ヲ家畜トイフ。家畜ノ中ニテ、馬ト牛トハ最モ人ニ用アルモノナリ。馬ハ荷物ヲ負ハセ、車ヲ輓カセ、騎乗ニ供シ、



ダ強キガ故ニ、重キ荷物ヲ運搬セシ

耕作ニ用フ。牛ノ肉
ト乳トハ、最モ好キ滋
養物ニシテ、皮ハ靴ニ
製シ、角ハ彫物ニ供シ、
筋骨マデモ棄タルル
モノナシ。其ノ力甚

ム。

畜獸。野。棲。頁。騎乘。耕作。肉。滋養物。靴。角。
彫物。筋。骨。棄。力。故。運搬。

第十一 蠶

此の處は、養蠶場あるべし。數多の
女子ハ、蠶小桑の葉を與へ、甚だ忙
し。蠶には、春飼ふものあり、夏飼ふ

ものあり、
秋飼ふも
のあり。

此の蟲は桑の葉
を食ひて、巢を造
るなり。 其の造
りしる巢を繭と

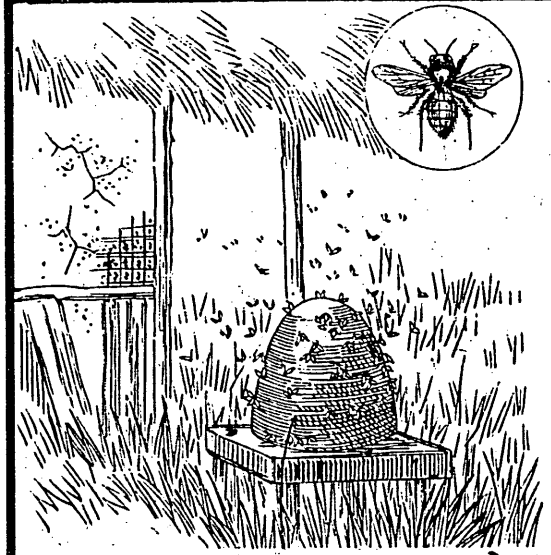
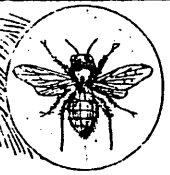


いひ、繭を煮て繰りたる糸のを生絲
といひ、生絲ふて織りたるものを絹
布といふ。 又蠶は卵を産みつけた
る紙あり。 之を蠶卵紙又七種紙と
いふ。

養蠶場。數多。桑。與。忙。巢。繭。煮。繰。生絲。
織。絹。蠶卵紙。種紙。

第十二 蜜蜂

此ノ家ニハ、蜜蜂ヲ養ヒタリ。此ノ



蟲ハ一群ノ中ニ必
ズ王蜂ト守蜂ト工
蜂トノ三種アリテ、
王蜂ハ一群ヲ支配
シ、守蜂ハ巢ヲ守リ、

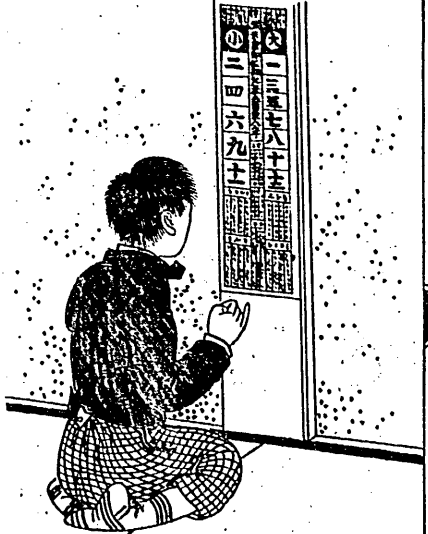
工蜂ハ野山ニ出デテ、花ノ汁ヲ吸ヒ
取り、巢ニ歸リテ、蜜ヲ釀ス。此ノ釀
シタル蜜ハ、藥用ニ充テ、或ハ食用ニ
供ス。又此ノ蜜及ビ巢ニテ蠟ヲ製
スベシ。

蜜蜂。群。王蜂。守蜂。工蜂。支配。汁。吸。釀。藥用。
充。蠟。

第十三年

汝は、一年乃日數を知きりや。一年の日數は、三百六十五日おして、四年目お一日を増す。此の一日を増したる年哉閏年といひ、其餘は年を平年といふ。汝は、一年の月數を知きりや。一年の月數は、十二箇月お

り。汝は、一月は日數を知れりや。一月、三月、五月、七月、八月、十月、十二月は月おとみ三十一日にして、四月、六月、九月、十一月は月おとみ三十日おり。只二月のみは、二十八日にして、閏年おは、二十九日とる。此の一、三、五、七、八、十、十二乃七箇月を大の月と



いひ、其餘の月を
 小の月と以ふ。柱
 に張りたる曆を見
 よ。

増。閏年。餘。平年。箇。只。柱。張。曆。

第十四 人ノ一生

此ノ一年ノ中ニ春夏秋冬ノ四季ア

ルコトハ、汝既ニ知りタルナラン。
 人ノ一生ヲ四季ニ譬フレバ、幼キ時
 ハ春ノ如ク、成長シタル時ハ夏ノ如
 ク、稍衰ヘタル時ハ秋ノ如ク、老イタ
 ル時ハ冬ノ如シ。春ト夏トニ勉強
 セザレバ、秋ニ至リテ其ノ功ナク、冬
 ニ至リテ歎クトモカヒナシ。サレ

バ、一年ノ計ハ春ニ在リ、一生ノ計ハ
 幼キ時ニ在リトイヒテ、幼キ時ヲ最
 モ肝要トセリ。汝只今幼シトテ、少
 シモ油斷スベカラズ。時ハ、汝ヲ待
 タズシテ去ルベシ。

譬。幼。成長。稍。衰。勉強。功。歎。肝要。油斷。待。去。

第十五 楮と漆

吾ガ家の園には、楮と漆とを植ゑた
 り。楮ハ、幹を伐り、皮を
 剥ぎて、紙を造るに用ひ。
 漆は、樹の皮に傷をつ
 けて、其の口より流れ出
 づる汁を取り、之を製し



て塗物小供也。此の塗物の上小金をもて種種の模様を描きたるは蔘繪とはいふなり。

楮。漆。植。榦。伐。剝。傷。塗物。模様。描。蔘繪。

第十六 麻ト綿

吾が家ノ畑ニハ麻ト綿トヲ作りタリ。麻ハ刈り取りテ莖ノ皮ヲ剝ギ、



紡ギテ糸トナシ織リテ布トナス。綿ハ實ヨリ吐キタル綿ヲ取リテ衣服ニ入レ又ハ紡ギテ糸トナシ織リテ布トナス。麻糸ニテ織リタルヲ麻布トイヒ綿糸ニテ織リタルヲ木

綿トイフ。綿ノ種ハ、搾リテ、油ヲ製スベシ。

麻。綿。莖。紡。吐。木綿。搾。

第十七 砂糖と鹽

砂糖と鹽とは、飲食物の味をつくらに缺くべからざるものあり。砂糖ハ、重に甘蔗といふ草の莖を搾りて、



其の汁を煮つめて製す。鹽は、海水より取るものと、地中より掘り出さるものとあり。吾の國ふてハ、海水より取るもの多し。其の取方

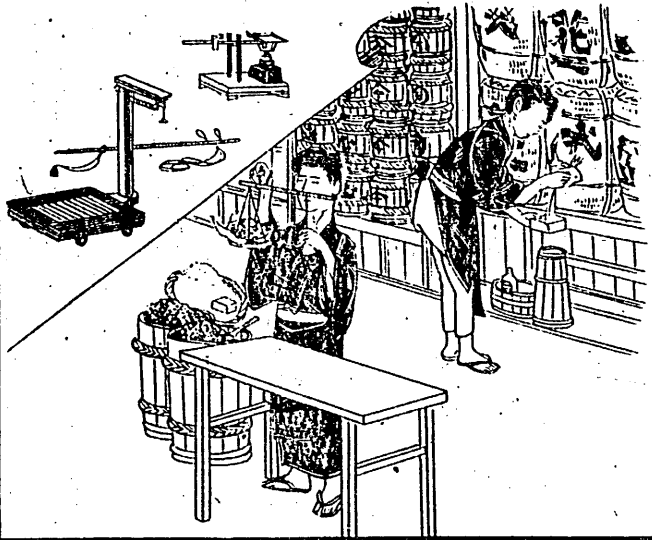
は暑き日、海水を汲みて、砂地に灌
 ぎかけ、鹽の固まりつきたるを搔き
 寄せて、之を漉して煮つむるあり。
 此の砂地をバ、鹽田といふ。

缺。甘蔗。砂地。灌。固。搔。寄。漉。鹽田。

第十八 秤

此ノ酒見世ニテハ、酢、味醂、味噌、醬油、

鹽ヲモ商ヘリ。酒酢、味醂、醬油、鹽ハ、
 枱目ニテ賣レドモ、味噌ハ、目方ニテ賣
 レリ。物ノ目方ヲ
 量ルニハ、秤ヲ用フ。
 汝ハ、秤ノ目ノ稱
 ヲ知レリヤ。一分



シ十二テ一匁トイヒ、一匁ヲ十二テ
 十匁トイヒ、十匁ヲ十二テ百目トイ
 ヒ、百目ヲ十二テ一貫目トイフ。又
 百二十目或ハ百六十目ヲ一斤トイ
 フ稱アリ。秤ノ種類ニハ、皿秤アリ、
 臺秤アリ。今、此ノ男ハ、皿秤ニテ、味
 噌ノ目方ヲ量レリ。

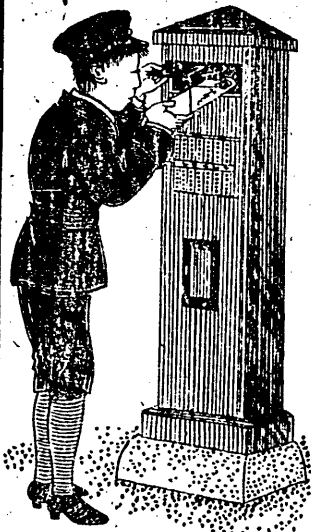
酒見世。酢。味醂。商。目方。秤。匁。貫目。斤。

皿秤。臺秤。

第十九 郵便

此の子は、只今、状袋の上、郵便切手
 を貼りて、郵便函に入きんと云。此
 の手紙を、定めて名あて、此家に届く
 べらん。郵便乃配達人は、數多の手

紙をそれ持ちよ配達するにのふれば郵便を出すふも受くるにも善く其の便利を謀るべし。郵便を出すものは差出人と受取人との姓名住所をたしらのふ書きて、配達人の惑はざるやうふさぐべく郵



便を受くるものは門口ふ郵便といふかけ聲を聞れば直ちに出でて受け取りて、配達人を待たせぬやうふさぐべし。

状袋。郵便。切手。貼。郵便函。定。届。配達人。便利。謀。差出人。受取人。住所。惑。門口。

第二十二 新聞紙



大阪ノ或ル町ニ住ム義雄ノ家ノ門
 口ニ郵便トイフカケ聲ノ聞エケレ
 バ、義雄ハ直チニ出テ
 テ見ルニ、東京ヨリノ
 新聞紙ヲ配達シ來レ
 リ。開キテ之ヲ讀ム
 ニ、左ノ一條アリ。

昨夜何時何區何町何番地より出
 火家數三十戸程燒失せり
 新聞紙ハ、日日ノ出來事ヲ記載シタ
 ルモノニテ、官令アリ、論說アリ、電報
 アリ、雜錄アリ、投書アリ、廣告アリ、人
 ノ必ズ見ルベキモノナリ。
 大阪。義雄。東京。新聞紙。條。區。番地。戸。程。

燒失。記載。官令。論說。電報。雜錄。投書。廣告。

第二十一 電信

義雄は、今此の新聞紙を讀みて、大に驚きたり。義雄の友ある貞夫は、昨夜焼けたりと、ある東京に何町に住めば、安否乃程も覺束かと思ひて、直ち小近傍の電信局小至りて、左の

一信を發したり。

ヤケシカ

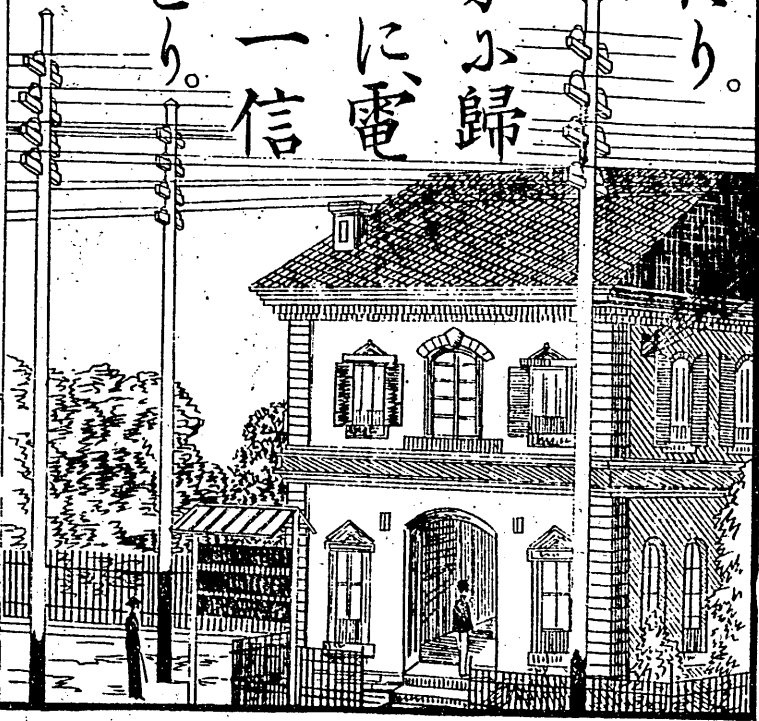
斯くて、其の家小歸

りて暫く待つに、電

信局より左の一信

を配達し來きり。

ヤケ又



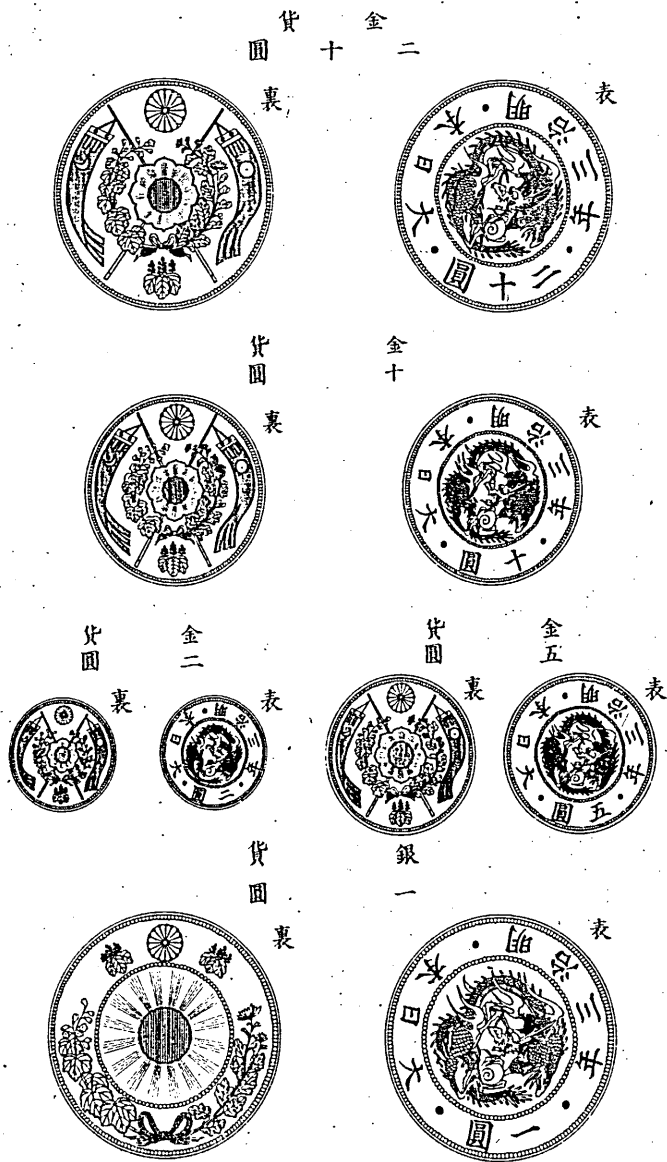
ふれハ、義雄此見舞小對して、貞夫の
 かたより發志たる返事なり。僅に
 四字乃片假名小て問へば、忽ち三字
 の片假名よて答ふ。電信也、實小便
 利ならむや。

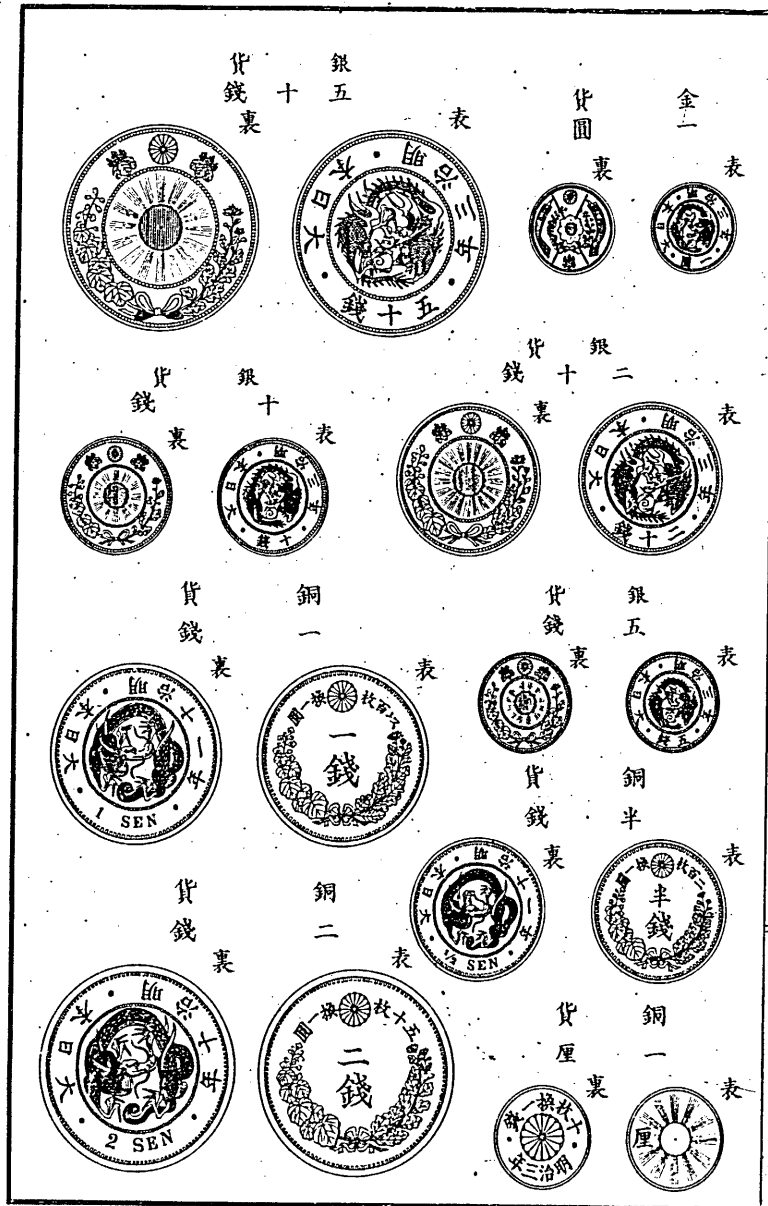
驚。貞夫。安否。覺束。思。近傍。電信局。發。斯。
 見舞。對。僅。問。忽。答。

第二十二 貨幣

物ヲ賣ルニハ代價ヲ受ケ、物ヲ買フ
 ニハ代價ヲ拂フ。此ノ代價ニハ貨
 幣或ハ紙幣ヲ使用スルナラン。サ
 レバ、貨幣ハ、物ノ賣買ノ媒トナルモ
 ノニシテ、紙幣ハ貨幣ノ代リニ用フ
 ルモノナリ。貨幣ニハ、金、銀、銅ノ三

種アリテ、銅ノ一種ヲ錢トイフ。汝
 ハ貨幣ノ稱ヲ知レリヤ。一厘ヲ十
 ニテ一錢トイヒ、一錢ヲ十二テ十錢
 トイヒ、十錢ヲ十二テ一圓トイフ。
 銅貨幣ニハ、一厘半錢、一錢、二錢ノ四
 種アリ。銀貨幣ニハ、五錢、十錢、二十
 錢、五十錢、一圓ノ五種アリ。金貨幣





二八、一圓、二圓、五圓、十圓、二十圓ノ五種アリ。又紙幣二八、二十錢、五十錢、一圓、二圓、五圓、十圓、二十圓、五十圓、百圓等ノ數種アリ。紙幣ハ紙ニテ造リタルモノナレバ遠キ處ニ持テ行クニハ貨幣ヨリモ便利ナルベシ。

代價。拂。貨幣。紙幣。煤。銅。厘。錢。圓。等。遠。持。

簡易算術

東京興文社

簡易第四讀本終

X17018

簡易四ノ卷

明治二十一年六月十九日印刷
 同 年同月廿二日出版
 同 年九月十五日訂正再版

一ノ卷 五錢
 二ノ卷 五錢
 三ノ卷 五錢
 四ノ卷 六錢
 五ノ卷 七錢

版權所有

編者 發行兼印刷者

東京府平民

石川活三

東京馬喰町二丁目一番地
日本橋區馬喰町二丁目一番地

國民の教育 發行所 發兌

興文社

發兌

石川教育書房

同

簡易第五讀本

興文社編

| | |
|--------|-----|
| 會育教本日大 | |
| 館誌書會育教 | 日 6 |
| | 冊 8 |
| | 架 5 |
| 六册 | 四架 |

檢定合格本

| |
|-------|
| K1208 |
| 41a |
| 5 |